

## 変容する公教育と グローバル教育ガバナンス

日時：2024年 3月23日(土)13:00~15:30

■登壇者

高山 敬太 氏 (南オーストラリア大学)

「OECD教育政策の「科学」を  
政治化するためのレッスン」

丸山 英樹 氏 (上智大学)

「2050年の教育と社会に向けて、何を続け・  
やめ・つくりなおすか」

※ 正式な発表題目は、各発表者の当日の資料によるものとします。

第11期の課題研究は<変容する公教育と教育政策／統治>をテーマに研究を進めています。今回の研究会では、グローバルな教育政策のアーリーにおける国際的なアクターであるOECDとUNESCOに着目します。多様な言説の参照元となり、各国が準拠せざるを得ないグローバルな枠組を作ってきたのがOECDです。4年ぶりのPISA結果公表直後のこのタイミングで、OECDの影響をどう捉え、どう対峙していくべきか、高山敬太氏から伺います。ESDなどでも関心と呼んでいるUNESCOについては、最新報告書『Reimagining our futures together』の邦訳を予定している丸山英樹氏(上智大学)から、同機関の特徴や位置づけ、日本の教育政策への示唆を伺います。これらに対比しながら、グローバル教育ガバナンスにおける公教育のゆくえを考察したいと思います。

オンライン  
参加無料

■参加申込について

会員の皆様は事前申込不要です。

後日、学会事務局からメールにて参加案内をお送りいたします。

会員以外の方は[参加申込フォーム](#)(ないしは下記QRコード)からお申込みください。【申込期限：2024年3月20日(水)23:59】

■お問い合わせ先

日本教育政策学会 研究推進担当理事 横井 敏郎 (北海道大学)

e-mail : jasep.11th.ps@gmail.com

【非会員の皆様】  
お申込みはこちら→

